

RA 協議会 情報発信専門委員会 ネットワーキングセミナー  
「事務職員の立場からの研究推進・支援の視点を知る」（2022年5月30日開催）  
参加者アンケート結果

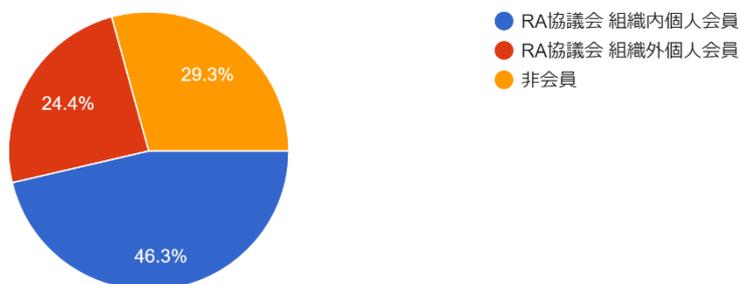
職種を教えてください。

41件の回答



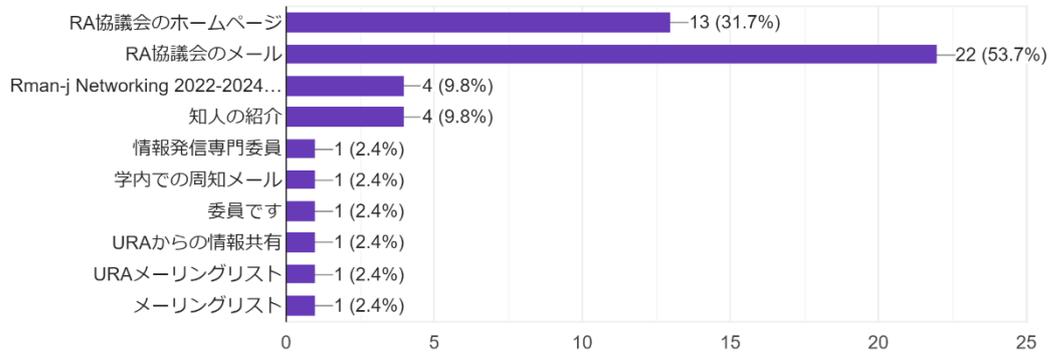
RA協議会の会員ですか？

41件の回答



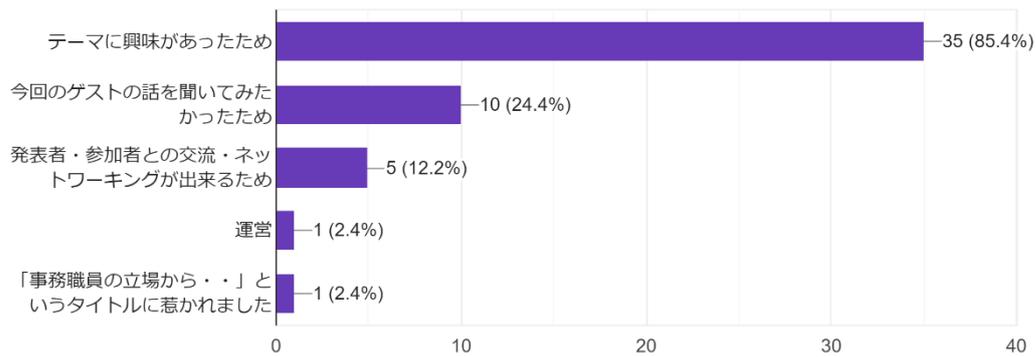
### セミナーをどちらで知りましたか？（複数選択可）

41件の回答

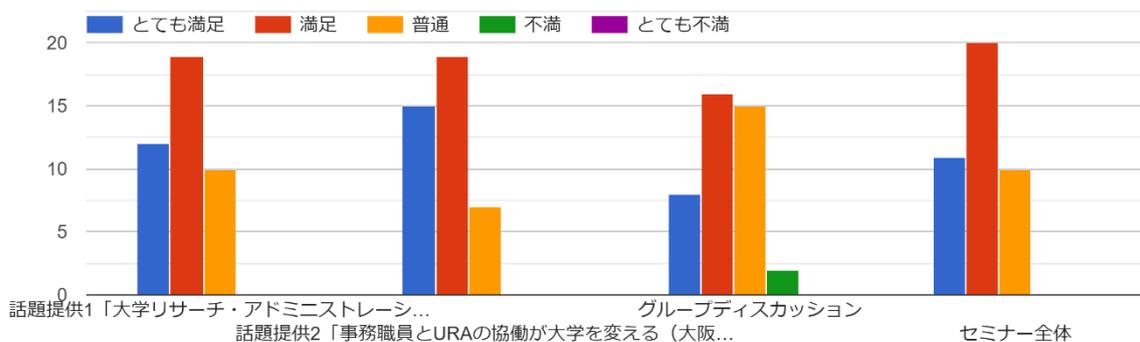


### どのような理由でセミナーに参加されましたか？（複数選択可）

41件の回答

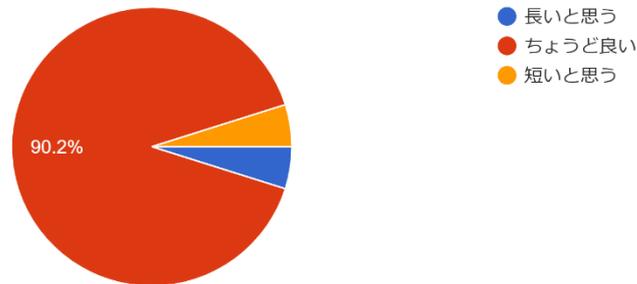


### セミナーの内容はどうでしたか？



セミナーの開催時間（90分）はどうか？

41件の回答



今回のセミナーに対する感想などがあればご記入ください。

○内容もさることながら、一部の方とはオンライン会議等で顔を合わせる機会もありますが、今回はしばらくお会いできていなかった方にも(画面を通じて)再会することができ、とても有意義な会となりました。ありがとうございました。

○事務職員との連携には情報共有が重要だということを再認識しました。

○非常に興味のある内容だったので次回も開催を楽しみにしています。一方で、もう少し話題を掘り下げて聞きたいという気持ちもあったので、話題提供は1テーマとしていただけると嬉しいです。

○時間都合がつかなくなり参加できなかったのですが、内容・開催時間(必須回答項目)は普通を選択しました

○テーマに関心があって参加しました。特に山口先生の URA システムに関するお話は非常に興味深いお話でした。大規模な大学であれば URA システムを機能させることは容易かと思いますが、小規模大学でも外部資金の獲得が経営計画に盛り込まれる昨今、このような大学で URA システムを機能させるにはどのような体制をとればよいでしょうか。私自身、元大学職員として研究支援担当をしていた経験があり、この点についてはかねてから悶々としておりました。今後ともよろしく願いいたします。

○全体の時間が短いと感じるほど、みなさんがお話ししてくれ、様々なことが聞けました。

○私は事務職員の立場なのですが、今回の講師のお二方をはじめ、各大学で多くの事務職員の皆様が、URA の方々と一緒になって研修支援等の業務をなさっていることを知れて大変参考になりました。今回は上司(筑波大学池田一郎氏)の勧めもあり参加させていただきましたが、是非次回も継続して参加していければと思っています。本日はありがとうございました。

○URA というのは職種であるべきではなく、職能として、それを必要な職員(事務系・技術系・専門職系等あらゆる職員)が習得し、ネットワークを構成すべきものなのかな、と思いました。

○グループディスカッションの時間をもう少し長くしていただきたい

○グループディスカッションで、どちらかというと質疑応答になってしまったので、もう少し人数をわけて発言しやすい環境でも良いかなと思いました。

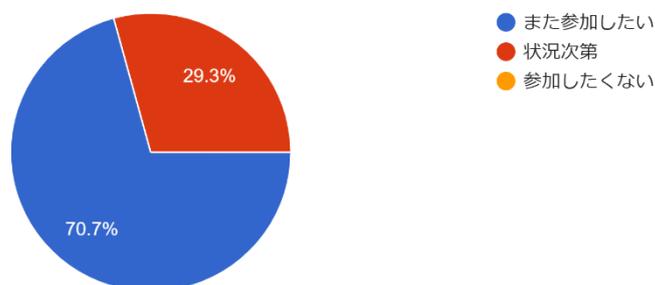
○大学職員の在り方について、視野を広げることができました。ありがとうございました。

○もう少し時間があれば良いのと思いました。

○別の会議の予定が後にあったためグループディスカッションには参加できず済みません。

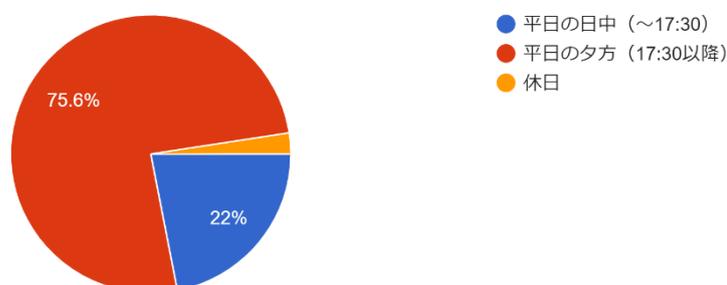
今後もセミナーを企画したいと思います、参加していただけますか？

41 件の回答



セミナーの日程について、どの時間帯が一番参加しやすいですか？

41 件の回答



開催してほしい企画や、聞いてみたい話題（講師）などのご要望がありましたら教えてください。

○小規模大学向けの研究支援テクニック(研究支援に関する書類管理・情報管理の方法、機関の研究力を測定する方法、等)

○URA 職の意義・特長、研究機関・大学間の URA 又は類似職の状況比較

○URA のキャリアパスや人事・評価制度のような話題を聞いてみたいです

○研究動向把握の実例

○外部資金情報の収集と伝達について

○①「事務職員の立場から」シリーズをお願いしたい。②人文社会に特化した企画をお願いしたい。

○引き続き業務紹介や勉強会を開催してほしいです。

○十年後、あなたは何をしていますか？自らのキャリアパスについて

○初めて参加したが興味深く参加できた。また参加したい。

その他、情報発信専門委員会に対する要望などございましたら教えてください。

○私の所属機関では、令和4年度から公立大学の研究活動促進のためにいくつか研修を開始したところです。公立大学は小規模大学が多く、学部構成も人文社会・看護に偏っているため、研究支援機能が未熟な機関が多くあります。そのような大学にもノウハウを普及させたく、魅力的な情報をご提供いただけますと幸いです。今後ともよろしく願いいたします。

○企画要望にも関連するし、令和3年度年次大会にても一部大学における現状紹介があったが、RA 協議会加盟組織(できれば非加盟機関にも調査対象を広げての)における URA 状況の調査結果がまとまっていれば(早めに)、会員組織に対する報提供(RA 協議会内での公開)をお願いしたい(現状を踏まえての URA 質保証・均質化への向上改善にも資すると思料)

○認定 ura 申請の情報が今までなかったような気がする。非常に重要な情報では。

○ネットワーク構築にも期待しております。